

評価項目表

| 項目 | 審査基準 | 配点 |
|----------------------|--|-----|
| 1 業務の内容 | | 55 |
| (1) 業務計画の作成 | 業務を円滑に実施できるよう、業務全体の目的及び内容を踏まえ、具体的で効率的かつ効果的な業務計画が立案されているか。 | 10 |
| (2) 境界明確化 | 福岡市が示した境界明確化の対象範囲を満たしているか。 | 10 |
| | 資料収集整理、現地精通者や土地所有者への説明会、ヒアリング、現地調査等、境界案の作成について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | |
| | 境界案への同意取得について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | |
| (3) 森林の経営管理に対する意向調査 | 意向調査について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | 10 |
| | 意向調査結果の集約・分析について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | |
| (4) 森林評価カルテ及びリスト作成 | 森林評価カルテ及びリスト作成について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | 5 |
| (5) 令和7年度意向調査回答者への通知 | 令和7年度意向調査回答者への通知について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | 5 |
| (6) 令和7年度境界明確化の結果通知 | 令和7年度境界明確化の結果通知について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | |
| (7) 定例会の実施及び報告等 | 定例会の実施及び報告等について、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | 5 |
| (8) 成果品作成 | 本業務の実施内容を成果品としてとりまとめるにあたり、具体的で効率的かつ効果的な手順、手法等が提案されているか。 | 10 |
| | 令和11年度以降も継続して利用可能な成果品となっているか。 | |
| 2 スケジュール及び役割分担 | 令和8年度及び令和9年度の業務スケジュールは具体的かつ現実的なスケジュールとなっているか。 | 10 |
| | 各作業段階に応じて、福岡市の作業内容と受託者の作業内容が具体的で妥当なものとなっているか。 | |
| 3 実施体制 | 実施体制、業務遂行責任者及び従事者が明確に示され、かつ適切な人員配置であり、業務遂行能力を十分に有しているか。 | 10 |
| | 同種業務等、同等な業務の実績はあるか。 | |
| | 業務遂行にあたっては、直接の従事者のみならず、受託者の組織全体が保有する知見を活用可能な体制となっているか。 | |
| 4 その他、追加提案等 | 本委託業務の実施に有効、有益な留意事項や追加提案等が、具体的に記述されているか。 | 20 |
| 5 価格 | 契約上限額と比較した価格 $5 \times (1 - \text{提案価格} / \text{契約上限金額})$ ※小数点以下四捨五入 | 5 |
| 合 計 | | 100 |